

第2回

協働の まちづくり プロジェクト会議結果



テーマ

災害からどのように身を守るか

協働のまちづくりプロジェクト
エクト会議って何？



協働のまちづくりプロジェクト会議とは、町内に居住する20歳以上の委員20名で構成され、まちづくりの課題等から討論するテーマを設け、様々な視点からご意見やご提案などを話し合い、行政運営の参考とさせていただきます。



▲昭和56年の水害で避難する町民

11月に開催された第2回の会議で各委員から出されたご意見、ご要望は次のとおりです。

□以前町内でこういう場所であろう災害が起こったなどの記録資料があればいい。前もって予防できる。災害は起こってからではなく予防が大事である。また、防災無線は定期点検をしておいた方がいい。

□災害時に無線を注意して聞けばいいが、それより防災意識をどういうふうにしていくか、個々のレベルアップをしなければならぬ。私もできれば助ける側にまわりたい。特に安全な劍淵だからこそいざとなれば危ない町で全戸配布した防災のしおりに記載してある災害時の非常持ち出し品を見てこれから災害に備えて準備したい。自分の自己責任を考えていかなければいけない。

□福島県須賀川市の子供たちが来たときに食事等のお手伝いをしました。その時に感じたことですが、皆さん差し入れを持って

きていただき大変ありがたかったのですが、同じ物の差し入れが多く調理に困りました。何か方法があればいいと思う。

□日赤奉仕団に入っていて講習を受けている。防災についてゲーム方式で実施しているので分かりやすい。町の各団体の代表等を集めて講習会を実施し、意識を高めてはどうか。

□劍淵町の町民は災害のない所だと思っていて意識は薄いと思う。町で配布した「防災のしおり」もほとんど見ていない。町自治会連合会で実施した防災訓練の研修を定期的に行い、防災意識を住民に徹底した方がいい。また、地域の訓練も必要だと感じるので、実際に実施してほしいだろうか。

□無線では食中毒警報をよく聞く。災害対策として予測できる場合は、できるだけ周知させたほうがいい。高齢者の一人暮らしや高齢者世帯の見守りは、災害時だけではなく色々な面で必要なので早く組織化し、見守り対策

ができればいい。

災害時に行政は何かしているの？

劍淵町は災害が少ないまちということは皆さんご存知と思いますが、近年の地球温暖化の影響による自然災害が町内でも発生しております。特に集中豪雨は、毎年発生する頻度が高くなりつつあります。

行政は、昨年も発生した集中豪雨時には災害対策本部を設置し、町内の見回り等を行っています。見回りで危険区域があれば本部に報告し、近隣住民に避難勧告を行っています。

今回の会議では防災意識を高めることが必要という意見が多数ありました。行政では、防災意識を高めるうえで過去に町内で起こった写真を使用して映像化を考えていきます。

家庭でも職場でも「一人ひとりの防災を高めること」が大切です。この機会に、一度防災対策を考えてみてはいかがでしょうか。